

うおづ 社協だより

Vol.155

H29

9



目次

第66回社会福祉大会報告	P2
あんしんカードの取り組み	P3
デイサービス行事報告・利用者様からの声	P4
知っておきたい介護保険のきほん	P5
開催案内	P6
赤い羽根共同募金からのお知らせ.....	P7

☆ 今月のかがやき人 ☆

子どもの頃は、生活の為に懸命にムシロを織っていた澤田恵美子さん。ムシロを織る速度を競う大会で賞を取り、昭和天皇の前で披露したことも。

ワラで作られた宝船の置物に魅せられ、入善まで習いに行ったのが、30年ほど前。今では様々なワラ細工作りを楽しみ、公民館で指導もしています。

第66回 魚津市社会福祉大会が開催されました!

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して

7月8日(土)、新川文化ホールで第66回魚津市社会福祉大会が開催されました。会場には、市民や福祉関係者約300人が集まり、社会福祉事業での功労表彰や感謝状が授与されました。議事では大会宣言、大会決議が採択され、福祉のまちづくりの実現に向け、努力することを全員で誓いました。また、落語家の林家源平さんを講師に招き、『介護は十人十色 落語家のヘルパー修行日記』と題して記念講演も行われました。

受賞おめでとうございます

▽当協議会長表彰 (順不同・敬称略)

<個人の部>

八幡あけみ (青島)
 村崎 信明 (浅生)
 鍛野 和子 (新金屋)
 魚崎 待子 (村木町)
 石崎 夏子 (入善町棚山)
 松平なおみ (黒部市堀切)
 伊東 咲子 (湯上)
 岸本真弓美 (大海寺野)
 木下 詠子 (中央通り)
 神倉ゆかり (住吉)
 佐伯 榮子 (大海寺新)

<団体の部>

魚津蜃気楼節保存会
 清流小学校ボランティア委員会

▽当協議会長感謝状

(魚津善意銀行10万円以上寄付者)

(故) 徳本 博義 (東城)
 (故) 萩原 弘成 (住吉)
 (故) 折川 芳枝 (慶野)
 (故) 盛本 榮光 (三ヶ)
 (故) 雛形 章 (金山谷)
 木下 豊次 (上口)
 (故) 松原 正治 (末広町)
 (故) 舛田 三喜夫 (本江)
 (故) 平野 正夫 (木下新)
 (故) 加藤 庄一 (本新町)
 (故) 浅井 幸子 (上野)
 (故) 中山 常之 (東山)
 (故) 二川 晃 (吉野)
 (故) 朝野 もり (東町)
 (故) 高松 武義 (真成寺町)
 (故) 後藤 きみ (経田中町)
 (故) 有澤 秋子 (本町)
 (故) 小坂 愛子 (本江)

北陸労働金庫魚津支店地域推進委員会



大会決議

- 一 私たちは、地域住民、ボランティア、NPO、関係団体、企業、社会福祉協議会、行政などと積極的に連携・協働し、共に支えあう地域づくりを推進します。
- 一 私たちは、災害発生時に速やかに対応ができるよう、日頃から地域住民同士の顔の見える関係を築き、地域ぐるみのネットワークの充実と災害時に一人も見逃さない体制の整備を進めます。
- 一 私たちは、子どもと親の育ちを支える仕組みづくりを進めるため、家庭と地域とのつながりをつくり、安全安心な子育てができるやさしいまちづくりを推進します。
- 一 私たちは、高齢者が生きがいを持ち、いきいきと暮らすことができるよう、介護予防と健康づくりを推進します。
- 一 私たちは、障がいへの理解、啓発を進め、障がいのある人も地域の一員として安心して社会に参加できるまちづくりを推進します。
- 一 私たちは、地域住民、福祉関係諸団体などのだれもが気軽に集い、福祉活動に積極的に参加できる拠点づくりを推進します。
- 一 私たちは、地域の特色を活かしたまちづくりを進めるため、柔軟な活動ができる地域人材を発掘、育成するとともに、福祉専門職の確保と資質向上に努めます。

あんしんカードの活用が始まりました。

《あんしんカードとは?》

緊急時に必要な医療情報をあんしんカードに記入して迅速な救急活動に役立てるものです。

《カード入れの中に何を入れる?》

①あんしんカード、②お薬の処方箋（説明書）又はお薬手帳のコピー、③保険証のコピー、④診察券のコピーなどを入れて下さい。

《目的は?》

もしもの時、①救急で病院へ行く時 ②消防署へ連絡する時 ③救急隊が到着した時に必要な情報を知らせれば、持病や常用の薬など必要な情報を医師に的確に伝えることができ、救急搬送中の処置にも役立ちます。

《使い方は?》

- ① あんしんカードに必要事項を記入し、カード入れに入れます。
- ② あんしんカードを冷蔵庫の扉の正面に貼り付けます。

《記入の仕方、注意事項》

(様式1)

あんしんカード

ふりがな	うおづ さちこ	性別	男性 <input type="radio"/> 女性 <input checked="" type="radio"/>
氏名	魚津 幸子		
生年月日	明治・大正・昭和・平成 9年 10月 27日生 82歳		
住所	〒937-0801 行政区(新金屋2区) 新金屋 2-13-26	電話 携帯電話	(0765)22-0000 (090)0000-0000
緊急連絡先	ふりがな	氏名	続柄
	うおづ まさなり	魚津 政也	長男
緊急連絡先	住所	電話 携帯電話	(0765)24-△△△△ (090)△△△△-△△△△
	ふりがな	氏名	続柄
緊急連絡先	しゃぎょう ゆみ	社協 裕美	妹
	住所	電話 携帯電話	(0765)23-□□□□ (090)□□□□-□□□□
かかりつけ医	〇〇 病院	△△△△ 病院	
	〇〇 先生	△△ 先生	
今までかかった病気	電話 (0765)22-□□□□	電話 (0765)23-□□□□	
	(治療中の病気) 高血圧、腰痛	(治療中の病気) 心臓弁膜症	
特記事項	上と同じ	服薬中の薬	別添
	・インスリン・携帯酸素・ペースメーカー ・人工透析・その他()	アレルギー	有 <input checked="" type="checkbox"/>

緊急時に、このカードに記載する私の情報を提供することに同意します。

記入日 平成29年6月1日 署名 魚津 幸子 印
変更日 平成 年 月 日 魚津市社会福祉協議会

緊急連絡先:ご自身の状況を把握している方を優先してご記入ください。ご家族以外の方でも構いません。

医療機関名は2カ所記入できますが、身体状況をよく把握している医療機関を優先してご記入ください。

記入日:変更が生じた場合は訂正し、変更した日付を記入してください。

生年月日:年については西暦、または該当する年号を○で囲み、ご記入ください。

服薬中の薬:薬剤情報提供書のコピー、くすり手帳のコピー、薬袋などを入れることで代えてください。

捺印:緊急時のカードの活用を了承されましたら捺印をお願いします。

《お問合せ先》 魚津市社会福祉協議会 地域福祉課
電話22-8388 Fax22-8390

笑顔あふれる 東部デイ・ホテルでデザート

魚津市東部デイサービスセンター（吉島）では昨年好評だったホテルグランミラージュ・ミラヴェールへのお出掛けを企画し、7月10日（月）～14日（金）に行ってきました。高級感あふれる雰囲気の中、おしゃれなデザートを頂き、楽しい時間を過ごしました。天皇陛下御来県の写真も拝見し、思い出深い一日となりました。

美味しそう！

嬉しい～！
楽しい～！

楽しい
ティータイム
です。



東部デイサービスは、
皆さまの笑顔がたくさん見られるようお手伝いします。
魚津市東部デイサービスセンター
☎22-7772

～身障デイの利用者様、ご家族様からの声～

誕生日に自分で計画した活動ができて嬉しい。

ひとりで出来ない事も、仲間みんなで取り組むと難しいこともできるので喜びが大きい。

安心して自分の時間を作る事ができます。慣れた施設なので泊まる事ができたらいいな。（家族）

みんなといろんな話をしたり、助け合ったりできる事が魅力的。

食事がどれも美味しい。みんなで調理するのも楽しい。

身障デイサービスは、
「私はこうしたい！」と一緒に考えお手伝いします。
魚津市身体障害者デイサービスセンター
☎22-1250

知っておきたい、介護保険のきほん

介護保険適用のサービスとは、要介護、要支援状態にある「65歳以上の高齢者」と「40歳から64歳までの特定疾患の患者」が、介護保険料と国・自治体からの財源によって、1割（または2割）の自己負担で受けられる介護サービスです。

介護保険適用のサービスには様々な種類がありますが、今回は訪問介護サービスについて、介護保険の対象となるもの、対象とならないものをまとめてみました。

介護保険のサービス対象になるもの

身体介護……食事や入浴、排泄などの利用者の身体に直接触れる介助サービス（服薬の介助、着替えの介助、体位変換等）

生活援助……利用者本人が主に利用する居室の掃除・本人の衣類の洗濯・本人のための調理等の日常生活の援助（薬の受取り、一般的な食事の準備・後片づけ）

ご本人が介護保険の認定を受けられ、介助を必要とする場合でケアマネジャーの作成する居宅サービス計画（ケアプラン）に位置づけられれば、利用できます。



介護保険のサービス対象にならないもの

- ホームヘルパーが行わなくても日常生活に支障がないと判断される行為
- 日常的に行われる家事の範囲を超える行為
- 金銭・貴重品の取り扱い……トラブルの原因になるので、現金の引き出し等はできません。生活必需品の買物をする場合は金銭管理台帳やノートに記入してもらい、レシート、領収書を必ずもらいトラブルにならないようにします
- 利用者以外のための援助……同居家族のためのサービスはできません
- 利用者が居宅にいないときの援助……不在中に洗濯等の家事を依頼することはできません
- 医療行為……ヘルパーには認められていないので、訪問看護サービス等を利用しましょう

介護保険適用外のサービスを希望される場合、自費で行う「私的サービス」もありますので、ご相談ください。ただし内容によりできかねる場合もあります。

【連絡先】 社協ヘルパーステーション ☎ 23-1888

敬老のつどい

日時 9月16日(土)
午前10時～午後3時
場所 福祉センター百楽荘

ステージイベント (10:10～15:00) 大広間
ビンゴゲームやボランティアによる、素敵なステージを予定しています。皆さんお誘い合わせの上、ご来館ください。

●出演● (敬称略)

- 1 きょうてん
ハーモニカ愛好会
- 2 カラオケありぞ海



お問い合わせ 福祉センター百楽荘
☎24-3241

遊びにおいでよ

うおづ児童センターまつり2017

食べ物、ゲームコーナー、富山県こどもみらい館による遊びの出前もあります。今年も楽しいことがいっぱいです。

子ども達の作った素敵なグッズも販売します。みなさん、遊びに来てくださいね。

日時 10月21日(土)
午前10時～午後1時
会場 あいそドーム産業展示ホール



※当日、市内の児童センターは全て休館させていただきます。

災害救援ボランティアリーダー研修会を開催しました。

去る、7月15日(土)新川文化ホールで開催しました研修会は、地震や集中豪雨などの自然災害の被害にあった場合に「みんなのまちはみんなで守る」という意識のもと、災害に強い地域づくりを進めるために開かれたものです。講師の講義の後、グループワークを行いました。

出席者は、いつ身近に災害が起きるか分からない、と意識しながら真剣な様子でした。地域での支え合いの大切さ、災害を想定した日頃の取り組みの大切さを改めて考える機会となりました。



生活・就労に関する巡回相談のご案内

生活に不安を抱えている方、仕事に就く自信のない方など、仕事・解雇・病気・ニート・家族問題などの相談に富山県東部生活自立支援センターの専門スタッフと魚津市福祉総合相談支援センターの職員が応じます。

【日時】 9月 7日(木) 10月12日(木)
11月 9日(木) 12月 7日(木)
1月11日(木) 2月 8日(木)
3月 8日(木)
いずれも午前10時～11時30分
【場所】 魚津市福祉総合相談支援センター
(福祉センター百楽荘内)
☎23-0899

あなたの善意ありがとう

使用済み切手 (敬称略)

- 富山県民生涯学習カレッジ新川地区センター
- 加積公民館 ●(株)関口組 ●今井琢也

ご寄附いただいた使用済み切手は、日本キリスト教海外医療協会に送り、アジアやアフリカの保健医療事情の向上のために役立てられます。

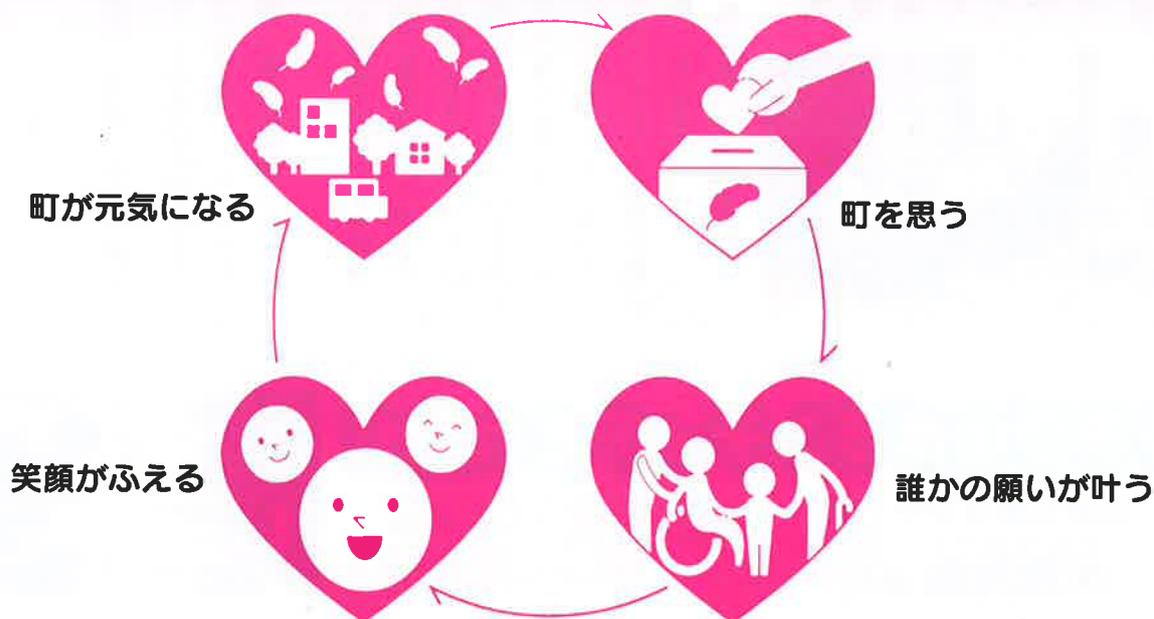
予告

魚津のまちを良くするしくみ

赤い羽根共同募金



10月1日～12月31日



道下地区では育児サロンの実施に使われました

経田地区では異世代交流活動に使われました
(地引網体験の様子)

ひとりにさせない地域づくり

赤い羽根共同募金は、魚津市で募っていただいた70%が魚津の町のために、30%は県や広域のために使われます。昨年度は魚津市で6,149,419円ものご寄附をお寄せいただきました。このうち、3,868,000円が魚津市の福祉団体や各地区へ助成され、地域福祉の推進に活用されています。心より感謝申し上げます。

今年も10月1日より運動が始まります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせは、魚津市共同募金委員会（当協議会内 電話22-8388）まで

サロン紹介

まめな会

(上中島地区 湯上・若高) 代表 谷川 貢

まめな会は、敬老会の時に、上中島の他区のように自分たちもサロンをやってみようということになり、手作りのちらしを配布し参加を呼びかけ、3年前に発足しました。

頭の運動になるゲーム・接骨師さんによる体操教室・介護保険などについての勉強会など、現在まで月1回活動しています。毎回、必ずおしゃべりの時間を作り、皆で近況や村のことを話しています。講師の話などを聞くだけでなく、自分のグチを話したり、仲間の話を聞いたりすることで、気持ちが明るくなり、自分だけではわからない情報を得られるため、大切な時間になっています。

たまたま地区の役員をしておられた方が多いため、会員の半分以上が男性であることが特徴です。男性は女性に比べて、一人暮らしになった時に弱いと聞いている(笑)ので、サロンに男性が多いことはよいことだと思っています。これからも、男女問わず次の世代の仲間を増やしたいと考えています。



うおづのボランティアさん紹介

お便りボランティア
みなづきかい
水無月会さん

楽しく自分たちが
できることを!



ボランティア歴：約10年 現メンバー：5名



活動を始めたきっかけは？

もともと月1回程おしゃべりしたりする仲良しのメンバーで、「何か人の役に立つことをしよう」ということになり、相談して始めました。



活動内容は？

福祉施設の入所者の方へ、雪中見舞いと年賀状をお出ししています。メンバーそれぞれの特技(絵・文字・パソコンイラスト等)をいかし、1枚1枚違うお便りが出来上がります。会ったことはなくても、友人に心から「お元気で」と話しかける気持ちで書いています。書き損じハガキ募集中です！(☆魚津市ボランティアセンターで受け付けています)



今後の抱負を教えてください！

自分たちができる小さなボランティアですが、だからこそ続けているのだと思います。これからも、にぎやかに仲良く続けていきたいです。

ボランティアをやってみたい！興味がある！という方、まずはお電話を♪
(魚津市ボランティアセンター 電話22-8388)

編集後記

今月の表紙、澤田さんの一日は朝5時前の起床から始まる。広い畑の手入れや野菜の収穫、ラジオ体操、仏壇にお参りをして朝ごはんを食べるのが日課だ。バイクを運転し近くの温泉へ出掛けたり、お友達と納屋の作業場でおしゃべりするのが楽しいそうだ。県の山開きで使われる大木にかけるしめ縄を作る澤田さんに、底知れない力強さを感じた。(岡田)



発行/社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会
〒937-0801 魚津市新金屋2-13-26
☎(0765)22-8388・☎(0765)22-8390
E-mail:info@uoshakyo.net(代表)